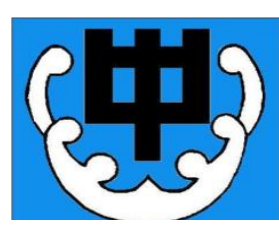


自主
錬磨
協調

灯台



学校だより 10月号

令和元年10月25日発行
〒896-1201 薩摩川内市上甕町中甕 191-1

薩摩川内市立上甕中学校
TEL:09969-2-0014 FAX:09969-2-0041



「思いをめぐらす」

校長 鬼塚富貴子

先月、第9回上甕幼小中合同大運動会大会スローガン“燃えろ！48人の魂。～上中に思いをはせて～”を初めて目にした時、「思いをはせて」という言葉の美しさに心を奪われました。また、この言葉を選出した運動会実行委員会の生徒たちの感性に感謝と尊敬の念が芽生えてきました。

運動会当日、開会のあいさつの中で、「上中に思いをはせて」という言葉に触れ、学び舎(上中)への感謝の気持ちとふるさと甕島への熱い思い、さらに、生徒たちの運動会に対する情熱と一人一人の心に残る運動会にするという気持ちを伝えました。

後日、読書の秋を満喫する中、濱里忠宜先生(下甕に御縁のある方)の『遠い宴』という本を拝読しました。私が出会った濱里先生の初めての本は『若き旅人たちへ』。当時はこの題名に惹かれました。そして、教員1年目の私は自分を若き旅人だと勝手に決めつけ、軽い気持ちで読書を楽しみました。また、『遠い宴』は、教頭職に就いた3年後、新天地に異動する直前に拝読しました。今振り返ると、濱里先生が描く美しい日本語と体験談に触れることで、新天地への不安解消と気持ちを前向きにするための特効薬にしていたのかもしれない。

10月初旬、何かに導かれるように手にした本は久しぶりの『遠い宴』。甕島で過ごす私にとって本の内容全てに心が動かされました。「思いをめぐらす」言葉もその一部です。改めて、日本語の美しさを実感しているところです。生徒に感謝です。

第9回上甕幼小中合同大運動会開催

9月29日、日曜日。第9回上甕幼小中合同運動会が開催されました。この日は、天候が心配でしたが、朝の運動会準備の時には、大勢の保護者が集まり、全ての準備を整えることができました。入場行進では小雨が降る中、園児・児童・生徒の堂々とした姿に気合い十分な気持ちが伝わってきました。また、子供達の思いが伝わったのか、雨もやみ、競技は晴れ間の中、盛大に運動会を実施することができました。本年度は、上甕幼小中合同大運動会が最後になります。途中、地域の方々も一緒に記念撮影を行いました。(裏面参照。約230名)児童・生徒達にも記憶に残る運動会になりました。

運動会当日の中学生の頑張る姿

上甕中学校の生徒は、12名。それぞれの競技種目・演技種目はもちろんのこと、応援団・役員等、12名全員がとても輝いた1日でした。



(紅団応援団)



(紅団応援団長)



(紅団応援副団長)



(白団応援団)



(白団応援副団長)



(白団応援団長)

地区新人戦～卓球部・剣道部～



1、2年生全員が地区新人戦に出場しました。8名全員がそれぞれの目標に向けよく頑張りました。日々「成長する姿に感動！」しています。

<主な成績>

卓球部～濱邊心乃さん
第8位。
剣道部～石原風陽さん
第6位。

生徒会役員改選

9月25日に生徒会役員選挙が行われました。生徒会会長候補に中間絵恋さん。生徒会副会長候補に小村龍之介さんが立候補し、信任投票になりました。その結果12名の生徒全員の信任を受け、生徒会会長及び生徒会副会長に決まりました。



後輩に対する思いに拍手！
後は、引継ぎに期待！



生徒会長としての自覚と役割を果たしていく決意に期待！



生徒全員に門礼を徹底したいという決意に期待！

今後の上甕中学校のリーダーに期待しています！

表彰関係

※ 市作文審査会
特選：濱邊心乃さん
特選：中間絵恋さん
特選：西愛麗さん

※ 市理科作品展
入選：小村龍之介さん
入選：中尾夢愛さん

※ 市あいさつ運動(標語の部)
優秀賞：梶原菜乃葉さん

～おめでとうございます。！！～



「生徒が元気！先生が元気！保護者が、地域が元気！上中から元気を発信！」上甕中学校キャッチフレーズ

給食試食会開催

9月5日に給食試食会が開催され、9名の保護者が参加しました。校長より、日本人のマナー3点「はしの持ち方」「食べる姿勢」「三角食べ」を意識した学校と家庭との連携についての話がありました。



小中合同学校保健委員会開催：情報教育大人編

給食試食会後に、学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会では、講師にeーネットキャラバン委託として（有）ダイロクノ社長の岡山幸祐氏を招聘しインターネットの使い方・怖さ及びスマホ等、情報教育について学びました。

情報教育については、保護者からも「学びたい」という希望が多く、実現した会でした。本年度で5回目になりますが大人も情報教育の学習を積み重ねているところです。



我が子を犯罪から守るために、真剣に指導者の話を聞く小学校・中学校の保護者。

情報教育生徒編

情報教育大人編の後、同指導者による生徒編を実施しました。学習内容は、現在問題になっているSNSにまつわる話とその対応の仕方・使い方に絞りました。学習では、生徒同士による危険防止策として、「スマホを使う時間を決める」「お金を使う場合は、保護者の了解を得る」等の発表があり、とても有意義な時間となりました。



【指導者による説明と生徒による話し合い活動・意見交換】

そこで、定期的に、上甕島と下甕島の生徒が里中に集まり、練習に励んできました。試合は、1回戦敗退でしたが生徒達にとっては貴重な体験になったようです。生徒の感想を一部紹介します。

（3年：中尾歩さん）

「今年は最上級生としてチームをひっぱり一生懸命練習に取り組むことができました。また、離島甲子園を通して、たくさんの友達ができ、いつかこの仲間と達えたら良いと思います。今年の離島選抜は途中人数が減り、ポジション的に苦労はしましたが、練習を重ねるうちに少しずつ上手になっていきました。本番では、練習以上の成果を出すことができ、また、チームの気持ちも一丸となりました。試合は、負けてしまいましたが自分達にとっては、練習の成果が出た試合になったと思います。また、他チームの試合を見て学ぶことがたくさんあったので、この大会を通して学んだことを、今後の生活に生かしていきたいです。」

（2年：中間絵恋さん）

「私は2度目の離島甲子園に出場して昨年より成長しているな、と思いました。それは、守備ではたまにミスはするけれど取れる回数が多くなったと感じたからです。また、バッティングでは、フライではなくゴロを打つことができました。他チームとの交流では、昨年会った人と再会することができ話が盛り上がりました。さらに、新しい友達も作ることができ、本当に良かったです。今後も、この大会を通して学んだことを学校生活に生かして生きたいです。」

*1年生の生徒2人（梶原菜乃葉さん、濱邊心乃さん）も中尾歩さん、中間絵恋さん同様、多くのことを学んだようです。

この離島甲子園については、選手のみならず、指導者・保護者・運営関係者等の多くの支えがあってこそ参加できる大会です。関係者の皆様方に心から感謝いたします。ありがとうございました。

なお、次年度の離島甲子園は、二十四の瞳で有名な香川県の小豆島での開催です。ぜひ、上甕と下甕の中学生は甕島選抜チームとして出場できる大会ですので、離島甲子園への出場を通して、友人の輪を広げ、さらに、開催地（離島）の良さ（自然・地域の特産物）を実感してほしいと思います。頑張れ甕島選抜チーム!! 頑張れ上中生徒!!

～自立に向けて～栄養教諭の授業

9月3日、「自立に向けて」をテーマに栄養教諭の伊豫田先生による学習を行いました。授業は、宮野教諭とT.T方式で行われました。

学習内容は、「今現在の食生活を確認し、今後どのような見直しが必要か。」をテーマに考えていきました。

生徒は、自分の事として真剣に取り組んでいました。



【生徒たちによる話し合い活動】

10月の行事予定

- 3日（木）使用済み切手収集
- 6日（日）町民運動会
- 10日（木）地区新人大会（卓球・剣道）
- 11日（金）地区新人大会（卓球）
- 12日（土）土曜授業
- 13日（日）市民運動会
- 15日（火）16日（水）中間テスト
- 24日（木）海風会議
- 27日（日）文化祭
- 30日（水）一日遠足（下甕）
- 31日（木）薬物乱用防止教室

◎中間テストへの早め早めの対策。
◎目標点数の設定。◎ライバルは自分!!

※ 秋の季節は、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」ともいわれます。

勉強と体力向上（運動）の両立に努めてください。

「生徒が元気！先生が元気！保護者が、地域が元気！上中から元気を発信！」上甕中学校キャッチフレーズ



令和元年 9 月 2 9 日（日） 第 9 回 上甕幼小中合同大運動会にて 記念写真